



No.50

2021 September  
[MISA会報 第50号]

- 会長挨拶
- 第10回通常総会
- 役員改選報告
- 事務局からのお知らせ
- 委員会活動報告
- 新入会員紹介

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp  
■URL/<https://www.misa.or.jp> ■企画・編集/広報委員会 ■印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社



## 会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 石森 令一



日頃はMISAの事業運営にご支援・ご協力を頂き御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大は、いまだに終息が見えない状況が続いております。

新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）により、国内だけではなく世界的にモノや人の移動が大幅に制限され、グローバル化した世界経済は大きな影響を受けております。

日本経済においても、打撃から立ち直るまでに相当の時間がかかるという見方が広がっており、東北の景況感も同様で、先行きの不透明感が続いている状況にあります。

MISAの会員企業の皆さまにおきましても、こうした対応には多くのご苦勞をされていることと察します。

一方、このような中において、ITは着実に進化し続けており、その役割はますます高まっております。政府は今年9月1日にデジタル庁を設置し、自治体システムの高度化を中心に、あらゆる分野でのオンライン化や地方移住へのIT活用など、官民での情報化活用の強化をさらに進めることとしております。中でもユーザー企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進は、地方におけるデジタル環境の整備、体制づくりには必須だとも言われております。

このような状況下、経済産業省のDXレポートの中で、

我々情報産業が抱えている大きな課題として技術者の不足感が強まっていると同時に、DX推進のためのIT技術者のスキルシフトの必要性について言及されております。また、ビジネスモデルの転換の必要性もうたわれており、これからは開発の受託ではなく、新しいビジネスモデルと一緒に考えるパートナーへの転身の必要性も言われています。今こそ、我々IT業界が会員の団結力とチャレンジ精神で全産業のIT化促進に貢献し、地域経済の活性化につなげていく時と考えております。

MISAのアンケート結果では、コロナ禍において今後、売上高は減少していきだろとの回答も増えつつありますが、コストカットの一環としてIT投資も同様に減らしていくしかないという考える企業も一時的に存在することは否めないことと思います。しかし、将来を展望すれば、「AI（人工知能）」、「IoT」、「ビッグデータ」、「VR」等の先端IT技術によりIT関連市場の拡大が期待されています。いずれにしても、これらを実用化させる職種はITエンジニアです。

それらに少しでも応えていくために、私ども情報サービス産業は人材の確保・育成は勿論、技術力を高め、働き方改革を含め魅力ある産業として産業構造の変革に取り組んでいくことが重要と思われまます。

引き続き会員皆様のご支援・ご協力よりしくお願いいたします。

## 第10回通常総会開催報告

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会の第10回通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考慮し3月26日に開催された第35回理事会の決定により書面による開催となりました。

総会は5月24日から6月4日の間で正会員各位に下記議案についての審議を書面にて依頼し、正会員数183社のうち、回答会員（130社）全員から承認の回答があり、いずれも提案通り承認されました。

### 【決議事項】

- 第1号議案 令和2年度事業実績について  
第2号議案 同 収支決算及び会計監査結果について  
第3号議案 役員改選について

### 【報告事項】

- 第4号議案 令和3年度事業計画について  
第5号議案 同 収支予算について

## 役員改選について

第10回通常総会において、役員候補者全員の選任承認をいただき、第36回理事会で会長、副会長、常務理事の選任を承認、新任者7名を含め一般社団法人宮城県情報サービス産業協会の執行体制が以下の決定いたしました。役員の任期は令和5年の総会開催日までの

2年間となります。

なお、前理事の遠藤守也氏、菅野直氏、佐々木卓也氏の3名が退任、在任時のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

## 令和3年度 MISA 新役員名簿

(各五十音順、敬称略)

役員	氏名	所属・役職	役員	氏名	所属・役職
会長 (代表理事)	石森 令一	東北インフォメーション・システムズ株式会社 相談役	理事	鈴木 利信	株式会社アテネコンピュータシステム 代表取締役社長
副会長	阿部 嘉男	株式会社SRA東北 代表取締役社長	//	<b>新</b> 菅原文彦	株式会社システムロード 代表取締役
//	小原 正孝	テクノ・マインド株式会社 代表取締役会長	//	高橋 貴紀	株式会社アルファビジョン 代表取締役
常務理事	穴沢 芳郎	一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 事務局長	//	<b>新</b> 高谷 将宏	株式会社エヌエスシー 常務取締役
理事	伊藤 正則	株式会社エスクルー 代表取締役社長	//	田代 紀生	システムニコール株式会社 参与
//	<b>新</b> 岩佐 浩	株式会社アイエスピー東北 代表取締役社長	//	<b>新</b> 中嶋 竜大	株式会社ナナイロ 代表取締役社長
//	<b>新</b> 遠藤 和夫	公益財団法人仙台市産業振興事業団 副理事長	//	伴 慎矢	東北NSソリューションズ株式会社 代表取締役社長
//	佐藤 麻美	株式会社Minorityソリューションズ 執行役員	監事	<b>新</b> 淡路 義和	株式会社コー・ワークス 代表取締役
//	<b>新</b> 柴崎 健一	株式会社トレック 専務取締役	//	小林 貴之	株式会社ラネックス 代表取締役社長

より、そう、ちから。

**東北電力グループ**

私たちがTOINX（トイックス）は、  
ITで実現する新たな価値を  
社会に届け続けます。

ともに手をとりあい、  
どんな時も誰よりも近くで、  
しっかり支え、キッチリ守ります。

さらに、一歩踏み込んだ提案をし、  
期待をこえる感動を届けます。

ITで、  
感動を、  
ともに。



**トイックス**  
**TOINX**

東北インフォメーション・システムズ株式会社 トイックス

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番10号 セントレ東北  
TEL 022-799-5555 FAX 022-799-5561

事務局からのお知らせ

## みやぎ・せんだい地域人材育成協働事業プラットフォームに関する協定書を締結

当協会は、令和3年5月18日、宮城県及び仙台市、東北学院大学、尚絅学院大学、聖和学院短期大学、仙台白百合女子大学、東北生活文化大学、東北生活文化大学短期大学部、東北福祉大学、東北文化学園大学、宮城学院女子大学及び仙台高等専門学校並びに株式会社七十七銀行、株式会社仙台銀行、仙台商工会議所との連携事業について、遠藤宮城県副知事、郡仙台市長のご出席のもと、協定書を締結いたしました。

本事業は、協定者の相互間における密接な連携及び協力により、学の「知」を活かして宮城県内の様々な課題に対して適切に対応し、県内の企業等が協働して互いの付加価値を高めあう取り組みを通して、県内の学生に対し、県内にある就職先の多様な魅力及び優位性を知らしめ、県内に所在する大学等の卒業生の県内就職率を向上させるとともに、県内における産官学全体の興隆に寄与することを目的としています。

当協会としても、IT企業の認知度向上、人材の育成・確保等のメリットが図られることから人財委員会を中心に積極的に連携・対応していくこととしています。

●本事業の2021年度計画の主な(案)は以下の通り

## ① 協働教育カリキュラムの運営

・協働教育カリキュラムの企画・検討

## ② キャリア支援

・キャリア支援プログラムの企画・検討

## ③ 地元定着支援

・宮城の企業発見プログラム2021の実施  
・その他地元定着イベントの検討・実施

## ④ その他

・関係部会並びに会議の開催  
・プラットフォーム参加組織・機関の拡大  
・事業実施に係る基礎データの収集



(前列左 当協会会長 石森令一)

委員会報告

## 2021年度MISA新入社員研修

人財委員会

人財委員会育成Gでは、MISA会員企業の中核となり将来を担うシステムエンジニアの育成を促す事業活動の一環として、「新入社員研修」を開催しています。

技術力と人間力を両軸に育成するコース編成が特長で、技術系コースにおいては出身学部・プログラミング経験の有無を問わず技術定着促進を図っています。

- ①ビジネス基盤養成：働く姿勢・ビジネスマナーやコミュニケーションなどの人間力育成
- ②システム開発技術者育成：Java・DB・Servletを題材にシステム開発基礎の体系的学習
- ③業務システム開発プロジェクト演習：要件定義から一連の開発工程に取り組む

2021年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ビジネス系コースを含む全日程がオンライン形式での実施となりましたが、Zoomのブレイクアウトルーム機能やSlackによる活発なコミュニケーション、画面共有機能を活かしたペアプログラミングによる学びの相乗効果が得られ、対面形式とは別のメリットを見出すことができました。

また、技術系コースでは、カリキュラムの時間配分・演習内容を全面的に見直し、さらに4名の講師が少人数グループ演習・小テスト等でこまめに受講者の理解度を把握することで、つまずきの早期発見・個別補講など迅速なフォローアップ体制を展開しました。

ご参加くださった新入社員の皆さまの、今後のご活躍を期待しております。

## &lt; 2021年度MISA新入社員研修 &gt;

■開催日 2021年4月5日～6月24日(55日間) 9:30～17:30

■実施形式 Zoom・Slackによるオンライン形式

■参加者 ①ビジネス基盤養成 14社58名  
②システム開発技術者育成 11社34名  
③業務システム開発プロジェクト演習 10社28名

※2022年度は、受講企業からのご要望等をもとにカリキュラムを更新のうえ、2021年12月募集開始の予定です。



ビジネス基盤養成 最終日



システム開発技術者育成 最終日



業務システム開発プロジェクト演習 最終発表

## 委員会報告

MISA×JIET テレワーク時代の健康管理セミナー 福利厚生委員会

6月23日にMISA福利厚生委員会とJIET(特定非営利活動法人 日本情報技術取引所)東北支部が、合同で「テレワーク時代の健康管理セミナー」を開催いたしました。



テレワーク時代の健康管理というタイトルで、主に在宅勤務が増え、体を動かす機会が減った世の中で体調不良やメンタル異常などを引き起こさないための心掛けや、座ったまま出来る簡単な体の歪み矯正エクササイズなど、コロナ禍とは言わず、普段デスクワークが多い私たちの業界にとってはタイムリー且つ有意義なセミナーであったと思います。

前半の座学では、テレワーク(デスクワーク)により体調に支障をきたし、最悪の場合はメンタル異常も引き起こすなど、身に覚えのありそうな内容でした。

後半には、座位による体の負担の改善方法など、約10ケースの実践ストレッチを交えての講義となり、参加者からは「スッキリした」「きもちいい」などの評価を頂きました。



## 委員会報告

FUTSAL 練習会&FATBURN EXTREME 福利厚生委員会

今年度も新型コロナウイルス蔓延の為、FUTSAL大会は開催見送りとなりました。

2年(3大会)連続中止となる中、今回はFUTSAL練習会とFATBURN EXTREMEというJリーグクラブもトレーニングに取り入れているという脂肪燃焼運動を開催しました。



午前中のFUTSAL練習会には、少数ながら、なじみの顔ぶれが集まり、汗を流していました。

今回は大会形式ではない為、企業チーム対企業チームではなく、集まった数社の参加者が混合チームとなり、ミニゲームを行ったり、パス練習・シュート練習などを行いました。

また、盛大なFUTSAL大会が開催出来るように委員会では準備を進めていきます。

午後には、まだ日本には数えるほどしかインストラクターがいないといわれている、脂肪燃焼運動FATBURN EXTREMEの講座を開催いたしました。



最初の30分間は動き方のレッスン。

ボクササイズ、スクワット、腹筋など、全身筋肉を動かす動作に、参加者は序盤で大量の汗をかいていました。

しかし、本番はここから。

スピーカーから流れる音楽にのせて、それぞれの動作をしていきます。

音楽が変わるタイミングで次々と動作が変わっていき、息つく暇もありません。

かつて流行した「ピリーザブートキャンプ」を彷彿させるようなテンポでエクササイズが進んでいきます。

インストラクターからは、「自分のタイミングで最低5回は休憩してください」と言われていましたが、5回では足りないほどの運動量に参加者は悶絶していました。



最後はTOKYO 2020聖火ランナーを務めたインストラクターを囲んで集合写真。

そして、参加者それぞれがトーチを持たせてもらい記念撮影を行いました。

初の試みとなったFATBURN EXTREMEは無事に閉幕となりました。

なお、翌日以降、全参加者は酷い筋肉痛に悩まされたのは言うまでもありません。

## 事務局からのお知らせ

## 『令和3年度IT業界働き方改革サポート事業』宮城県WGが発足

情報サービス産業協会（JISA）では、毎年、厚生労働省の単年度委託事業として「IT業界の長時間労働是正・働き方改革を目的とした事業」を受託し推進しています。

今年度は発注者・受注者の良好な関係を構築し、働き方改革を推進するための取り組みとしてモデル地域を選定し実施することになり、宮城県が候補となったことから、当協会としても重要課題であるとの認識に基づき、本事業への参画に前向きに取り組むこととし、関係自治体、MISA会員企業のご協力のもと、宮城県WGを発足、7月30日にzoomによる第1回会合が開催されました。

今後は後述のとおり、アンケートやヒヤリング並びにワークショップ・セミナー等の開催が予定されており、「目指すべき働き方の姿」に向けたWG（ワーキンググループ）の活動が期待されています。

## ■WGの役割

## 1. 地域におけるIT産業の目指すべき姿・働き方を発注者・受注者間で共有する。

※コロナウィルスの感染拡大の影響により働き方に大きな変化が起こっているものの、目指すべき姿や方向性は変わらない。

（主な現状課題）

- ・デジタル技術を活用した顧客の新たな価値・ビジネスモデルの創出への期待が高まっている
- ・システム開発の受託者から、デジタル技術を活用した新しいビジネスを顧客と一緒に考える役割への転換が求められる
- ・これまでの仕事の進め方やシステム開発の技術や方法に大きな変化が必要となり、地域性を超えた共通の課題になっている
- ・仕事の生産性を高め、社員が自律的に働ける環境を会社として提供することが重要となり、個人・企業・社会との関係性が大きく変わっていく

## 2. 目指すべき姿の実現に向けて、働き方・取引環境に関する実態や課題、取組の好事例を把握する。

- ・これまでJISAで取りまとめた成果物を参考に、改めて地域における実態を整理し、アンケート調査・ヒヤリングを実施する。

## 3. これからの働き方の方向性を示し、地域への浸透及び他地域への展開を図る。

- ・WGの調査結果、個別企業へのヒヤリング結果などに基づき、多様な働き方の実現に向けた地域における働き方改革や発注者・受注者の取引関係強化に向けた取り組みの方向性を整理する。
- ・WGでの検討結果を取りまとめ、厚労省やHP、セミナーなどを通じ、周知広報する。

## ■進め方

- ・主たる実務は、事務局（JISA）が行い、WGは事務局が行う内容について議論・確認及び支援を行うものとする。
- ・WGは令和3年7月から令和4年3月まで4回程度開催（オンライン形式）する。

## ■主な全体スケジュール

- ・6月～7月 ワーキンググループ（WG）の立ち上げ
- ・8月～9月 アンケート企画・実施・分析
- ・10月～12月 ヒヤリング企画・実施・まとめ
- ・11月～1月 ワークショップ・セミナーの開催
- ・2月～3月 事業成果の取りまとめ・周知広報

## IT業界の働き方改革サポート事業ワーキングメンバー構成（宮城県）

（敬称略）

メンバー	氏名	所属
座長	梶 功夫	宮城大学名誉教授
発注者	阿久津克之 市場 茂樹	東北インフォメーションシステムズ（株）業務管理室副室長 NECソリューションイノベータ（株）東北支社企画部長
受注者	岡田 晃男 伊藤 正則	SRA東北（株）ソリューション事業部長 （株）エスクルー 代表取締役社長
自治体関係者 オブザーバー	小川 暁憲 千葉 俊 佐々木賢一	宮城県経済商工観光部雇用対策課雇用推進専門監 宮城県経済商工観光部新産業振興課情報産業振興班長 宮城労働局 労働基準部監督課長
オブザーバー	伊藤 憲昭 難波 亮	厚生労働省労働基準局労働条件政策課課長補佐 厚生労働省労働基準局労働条件政策課法規第三係長
事務局	穴沢 芳郎 手計 将美 田畑 浩秋 辻村 朋大	宮城県情報サービス産業協会 常務理事・事務局長 情報サービス産業協会 理事・事業推進本部 本部長 情報サービス産業協会 事業推進本部 部長 情報サービス産業協会 事業推進本部

## MISA会員企業 活動情報

働き方改革の実践  
～働き方改革の意味とチャレンジ事例～

ハリウ コミュニケーションズ株式会社

## 働き方改革は時短の問題だけではない

労働法の改正により昨年4月より中小企業も待たなしで働き方改革に取り組まざるを得なくなった。新型コロナウイルス対応で、正直それどころではないという経営者の声も聞こえてきそう。 「残業を減らせ」と号令ばかりかけたとしても一向に改善しないだろう。

働き方改革の本質は、労働時間を短くすることだけではない。どうすれば質の高い働きになるのかを突き詰めていくことが重要であり、量（時間）を減らしながら、質（付加価値）を高めるという「二兎を追う」ために、組織の在り方そのものも問われているということだ。

## 地道な働き方改革からスタート

働き方改革を進めようとしたときに多くの企業で問題となるのが、組織内の意思の統一であろう。特に長時間労働が当たり前の時代で育った役員・管理職の意識を変えるのは並大抵のことではない。長時間労働が染みついているので、若い人たちもそうすべきと頭のどこかで考えてしまう。それでは、良い人材を得ることは難しくなるだろう。会社の将来を見据え、役員・管理職が一枚岩になることが重要だ。

中小企業の場合、社内教育がなかなか行き届かないため、知らず知らずのうちに自分にとって都合のよい働き方を身に着けてしまうケースが多い。人数が限られているために社内のローテーションもあまり行われず、自分の世界で仕事をしたり、全体最適よりも自己最適が優先されるため、全体で見ると生産性が落ちてしまう。弊社では、そういった現状を正確に把握・評価し、改善できる部分を洗い出していくことから改革が始まった。

まずは5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）への取り組みである。職場を整然ときれいにしておくことは生産性向上や良い仕事につながる。ものの置き場を決め、道具を準備し、どこに何があるのかすぐに分かるように職場の環境整備を行った。モノだけではなく、書類やデータの整理整頓にも手を付けることで、必要なデータがすぐに取り出せるようにした。

また、人によっては技術やノウハウを他者に教えたがらず、独り占めする傾向もありがちだ。弊社では、生産性向上を阻む要因を分析し、現場の管理者と共にひとつひとつ解決し、いわゆる「多能工化」の推進に大きく舵を切った。

栃木県的那須ハイランドパークでは、1人のスタッフが1日の中で様々な業務ポジションを担う「マルチタスク制」を導入し、業績を伸ばしている。例えば、社員であるAさんは朝に混み合う入場ゲートで入場受付を行う⇒午前11時に室内アトラクションでの業務に⇒昼12時はファストフードショップの販売員も⇒夕方4時になると混み合うお土産売場の店員に、といった具合だ。時間帯や天候によって混み合う場所のスタッフを増やし、暇なところは人を減らす。そうすると少ない人数でも施設を回していけるので、人件費が削減できる。縦割り意識が強い組織では、このような工夫がしにくい。その壁を壊すだけで業績アップにつながるのだ。業種は違えど、こういった取り組みは弊社でも取り入れている。

加えて、「計画を立てることの重要性」を全社的に徹底し、無計画で場当たりの仕事のやり方を許さないことで、情報の共有が進み、繁忙期においても現場の混乱が激減した。

このように働き方改革のために取り組むべきことはたくさんある。当たり前にするべきことが現場ではいつの間にか

なおざりになってしまっていた経緯がある。そこはきちんと反省して、原点に立ち返り、当たり前前を当たり前前に行ける組織にすることが働き方改革につながるのである。地道な体質転換がなければ、単純に高価なシステムを入れたとしても十分に機能しないだろう。

## 社員の健康増進を図ることで、活力と生産性を高める

弊社では3年前より健康経営に取り組み始め、昨年「健康経営優良法人」に選定され、今年は全国で上位500社「ブライツ500」に選定された。経済産業省が認定制度をつくり、普及促進に努めている。

弊社が掲げた主なテーマは「食の重要性」「運動」「メンタルヘルス」「残業の削減とWLB」等。会社としての方針を立て、様々な展開を図っているが、社員にはすこぶる好評だ。

健康経営とは従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することだ。会社として健康投資を行うことで、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上につながる。

弊社の実践事例として特徴的なものは、例えば食事指導。バランスの良い食事は健康な体を作るために必要不可欠だが、若手社員はコンビニ弁当、カップラーメンが大好きで、野菜嫌が多い。弊社では月に2度ほど「社食の日」を設定し、総務部が中心となって野菜たっぷりの食事を社員に振舞いつつ、栄養に関するミニ新聞を配り、食の重要性に関する啓発活動を行っている。また、近隣のスポーツクラブと法人契約し、積極的に運動する機会を提供している（役員・社員の半分以上が利用している）。

また、近年ハラスメントに対する認識がシビアになっている。弊社ではハラスメントに関する研修会を開催したり、相談窓口を設置して、ハラスメントの撲滅を図っている。また仕事上特定の人たちに集中しがちな過度なストレスの分散・回避にも積極的に取り組むことで、一層働きやすい会社づくりを目指している。不安や不信が根底にある組織は、コミュニケーションがうまくいかず、停滞する傾向が強いと言われている。メンタルヘルス対策は企業の発展にとって避けて通れない課題となっている。

## 働き方改革は、組織全体を見直す良い機会

国はすぐに企業に様々な宿題を押し付けたがる、健康経営に至っては自己責任の問題で、企業がそこまで対応する必要があるのか？と思う経営者の方もいるだろうが、そこから社会の流れを読み取り、経営を変えていこうという感性が重要だと感じている。

働き方改革は中小企業にとって取り組みにくいテーマであると思われるが、中小企業には経営と現場が近いという最大の強みがある。弊社では昨年のコロナ禍期間を前向きに活用し、社内の研修の充実や働き方改革の実践を行い、大きな成果を上げることが出来た。弊社の繁忙期は年度末であるが、第4四半期の売上は昨対で117%、粗利ベースでは122%と大幅に伸ばすことができたが、逆に残業は▲34.2%と全部門で大幅に減らすことに成功した。繁忙期は最も社員の負担が増える時期だが、数字的にも成果を残せたことは、会社としても自信につながった。

経営者の最大の関心事は「売上」と「利益」だろうが、それを生み出す働きやすい労働環境をどう整備するか。少子高齢化、人口減少という困難な時代の流れのなかで、働き方改革を通じた中小企業の進化が問われている。



# MISAホームページ リニューアルのお知らせ

<https://www.misa.or.jp>



デザインを一新し、モバイルでの表示、操作性が旧バージョンに比べ格段に向上しました。

協会の活動と魅力をさらに発信してまいります。

日頃より、当協会ホームページをご利用頂き、ありがとうございます。  
この度、ホームページを全面的にリニューアルいたしましたのでお知らせいたします。

◆リニューアル開始日 2021年9月3日

◆リニューアルの目的・ポイント

- 10年以上経過していたデザインを一新し、近年アクセス数比率が伸びていたモバイルにも完全に対応しました。
- 互換性・保守性及びセキュリティ上の脆弱性を改善しました。

◆リニューアルで変更した箇所・内容

- サイトの構成、内容自体は旧サイトを引き継いでいますが、見やすさ・操作性を向上させています。
- 委員会・会員のコンテンツ作成画面においては機能を精練し、使い勝手の向上に努めました。

◆操作について

- 会員各社のログイン時のパスワードは一旦リセットされているので、登録しているメールアドレス宛に届くパスワード再設定の画面より、各自で再設定して下さい。(次頁参照)
- 会員IDがわからない、どのメールアドレスで登録したか忘れた等の場合は事務局までお問い合わせ下さい。
- 記事作成画面の詳しい使い方は会員専用ページの操作マニュアルをご覧ください。



会員ログインでは委員会としてのログインと会員企業としてのログインがあります。会員ログインする事により、会員限定の特別情報も得られます。さらに企業からのPRしたいお知らせも掲載可能です。

パスワードは新たに設定して頂く必要がありますので、「パスワードを忘れた方へ」から入って下さい。

登録されているメールアドレス宛にパスワード設定画面を送ります。

自社で登録されているメールアドレスが不明の場合は事務局へ問い合わせる必要があります。

## 委員会



## 会員企業



委員会用管理画面では委員会ページ内のコンテンツの登録、変更と委員会からのお知らせを管理できます。

会員用管理画面では会員自身の情報の修正と、会員企業からのお知らせへ投稿することが出来ます。

企業情報の修正では会員のパスワード、メールアドレスの他自社URL、画像の管理を行えます。URLは名簿参照時のリンク先になり、画像は会員企業紹介欄の画像に使用されます。

会員企業からのお知らせは制限なく自由に投稿できますので、是非企業アピールに役立て下さい。

詳しい操作マニュアルは会員専用ページからダウンロード出来ます。尚、会員専用頁を閲覧するためには会員ログインをする必要があります。





## 会員企業 **NEW** 技術情報 Part8



### RPAの本命現る？ ～MSのPower Automate Desktopがすごい～

<https://flow.microsoft.com/ja-jp/desktop/>

なにかと話題の業務処理の自動化ツールRPA。メーカー各社から様々な製品が出てますが、それなりに高額で地元の中小企業が導入するには少々ハードルが高いのが現実です。なんとここに来てついにマイクロソフト社が「Power Automate Desktop」という製品をローンチしました。しかも無償です。いづれはWindows10に標準搭載されるという話です。

弊社ではここ数ヶ月にわたり、製品検証を行い、他製品と比較しつつ、機能的にも操作性においても全く遜色がない、レコーダー機能においても高機能で、十分実用に耐えうるという感触を得ています。無償の割にはというレベルではないです。

さすがにOSを作った会社が出すとここまで出来てしまうんだというのが使ってみた実感です。WEBスクレイピング、デスクトップアプリへ自動入力、EXCEL操作、メール送受信、自動シャットダウン等キーボードとマウスで操作するパソコンの作業は何でも出来るのではないかと思える程です。例えば従来手作業でやっていたような以下のような業務を全自動化出来ます。

1. WEBシステムからCSVで請求元データを自動でダウンロード。
2. CSVの形式を請求書の書式のEXCELに転記して、取引先別に保存。
3. EXCELの取引先一覧のメールアドレス宛に上で作成した請求書を添付して、一斉送信。
4. 正常送信されたら、完了フラグをEXCELに書き込む。
- ↓ここから下は管理職の方は見ないで下さい。！！
5. 退社時刻になったらWORDの業務日報をテンプレートから作成し、上司にメールで送信。
6. 勤怠ソフトを立ち上げ、退勤ボタンを押す。
7. パソコンを自動シャットダウンをする。(残念ながら自動立ち上げは出来ません。)

製品自体は無償ですが、習得にはそれなりの工数はかかります。

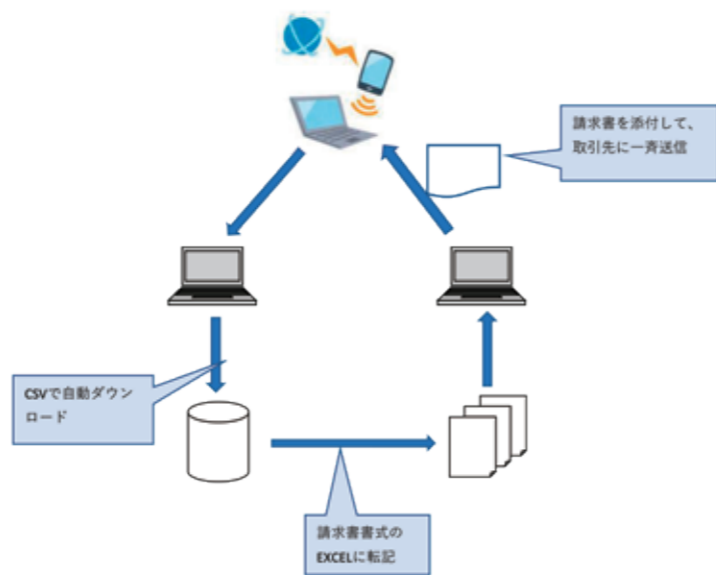
ただし、ノーコードでフローチャートを組み立てていくだけなので、ある程度アルゴリズムを理解出来れば、プログラミング経験が無くとも構築は可能です。もちろんプログラム経験があれば数日で習得は可能です。とにかく無償でダウンロード出来るので、始めるのは誰でもいつでも出来て、それ故ネット上に情報が豊富です。書籍やセミナーも様々ものがあります。

ただし、なにより大事なのは、対象業務の理解と処理手順の再構築になります。

業務手順の構築さえ出来れば(実はここがやはりプロの経験と知識の腕の見せ所ですが)、ノーコードだけあって開発工数は格段に上がります。

そしてれっきとした開発ツールなので、デバック機能はもちろんコメントを付けたり、いったんソース(もともとはRobbin言語)に落としてメモ帳で開き検索、置換等も出来ます。そのソースをコピーすれば他端末でも利用できます。他のフローやEXCELの関数やマクロ、JavaScriptやpythonを呼び出したり、SQLサーバーに接続して、データを取得したりと。はたまたAI-OCRと連携してみたり。

弊社では業務に即したデモフローもありますので、ご興味のある方はお気軽に連絡を。一緒に勉強してみませんか。



有限会社マインドアクセス 今野  
t.konno@mindaccess.com

## WITHコロナ「新しい生活様式」の実践例

### (1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m(最低1m)**空ける。
  - 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
  - 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する**。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意する**。
  - 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。  
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
  - 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**(手指消毒薬の使用も可)。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

### 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

### (2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** □咳エチケットの徹底
- こまめに換気(エアコン併用で室温を28℃以下に) □身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避(密集、密接、密閉)
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅療養



### (3) 日常生活の各場面別の生活様式

#### 買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

#### 公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

#### 娯楽 スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を  
もしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

#### 食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

#### イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

### (4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 □時差通勤でゆったりと □オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン □対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

【厚生労働省発表資料(6月19日に一部の記載を変更)より】



## 会員異動状況 (令和3年5月1日以降の入会関係)

正会員-入会

賛助会員-入会

会員数 (正会員……185社 賛助会員……36社)

入会日	会員名 (代表者名)	住 所 TEL・FAX
5月1日	(株)ジェイテック (代表取締役社長 中川 優介)	〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-6-23 インテリックス仙台ビル 3F TEL 022-796-7002 FAX 022-796-7003
5月19日	ナレッジビーンズ(株) (常務取締役 寺沢 元伸)	〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-2-30 日興ビル 3F TEL 022-208-7731 FAX 022-208-7761
6月1日	クオリティソフト(株) (代表取締役社長 浦 聖治)	〒649-2333 和歌山県西牟婁郡白浜町中 1701-3 TEL 0739-45-1001 FAX 0739-45-1008
6月1日	(株)フェイスフル (代表取締役 加藤 貴博)	〒980-0803 仙台市青葉区国分町 1-4-9 enspace TEL 03-4533-0866 FAX 03-6433-5266
6月28日	(有)情報技術総合研究所 (代表取締役 小松澤 美喜夫)	〒980-0012 仙台市青葉区錦町 1-5-1 N-oval ビル 2F TEL 022-397-7985 FAX 022-397-7986

(敬称略)

# MISA フォトコンテスト結果報告

MISA 会報 50 号フォトコンテストに、会員企業 14 名の方より 35 作品のご応募をいただきました。MISA 事務局と広報委員会の投票による選考結果でグランプリ、準グランプリ各 1 作品と佳作 9 作品が決定いたしました。グランプリ作品には商品券、準グランプリ作品と佳作には QUO カードがそれぞれ贈呈されます。

## 表紙に掲載 グランプリ

「栗駒山も上から順に衣替え」  
(株)トレック 柴崎 健一 様

## 準グランプリ

「おかえりフートピア長沼公園」  
(株)アート・システム  
鳥澤 強志 様



## 佳作 (順不同)

「夏の日の荒島」  
(株)ジャステック  
熊谷 健児 様



「紅葉の鳴子峡」  
システムニ科尔(株)  
田代 紀生 様



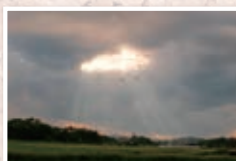
「磊々峡」  
(株)アド・エータイプ  
松橋 美慧 様



「七夕まつり」  
MISA 事務局  
白渡 小百合 様



「光の切れ間」  
(株)アド・エータイプ  
菅原 涼 様



「真っ赤な紅葉」  
(株)アイティフラッグス  
佐藤 美鈴 様



「銀杏」  
(株)アイティフラッグス  
久保 哲雄 様



「朝もやの金華山」  
(株)アート・システム  
菅原 壮浩 様



「秋保大滝」  
(株)アート・システム  
鹿目 仁 様

